



活きいきこっとな村が最優秀賞

—輝く“とちぎ”づくり表彰受賞—



11月18日、市民団体・活きいきこっとな村(千渡)が、第5回輝く“とちぎ”づくり表彰の最優秀賞を受賞しました。

同表彰は、大学や企業等と連携し、協働的な活動を行う県内の団体を対象とするものです。

活きいきこっとな村が実践する、野菜や綿花、ホウキモロコシ(籾の原材料)の栽培や販売等を通して、障がい者や高齢者、地域住民たちが支え合う取り組みが評価され、今回の受賞に至りました。

連覇へ期待高まる

—ふるさと大使・渡辺一馬選手 表敬訪問—

11月30日に、「かぬまふるさと大使」のプロライダー・^{わたなべ}渡辺一馬選手が市長を表敬訪問し、今季の成績について報告しました。

渡辺選手は、「2021MF」全日本ロードレース選手権シリーズ「ST1000クラス」で、全7レースのうち、優勝2回、3位までの入賞3回で、シリーズチャンピオンに輝きました。

市では、渡辺選手のチャンピオンをお祝いする横断幕を制作し、市役所第2駐車場フェンスに掲示しています。渡辺選手の今後の活躍から目が離せません!



鹿沼市シンボルキャラクター

「ベリーちゃん」

人権啓発活動に協力

—「じんけん大使」委嘱状伝達式—

市のシンボルキャラクター「ベリーちゃん」が、宇都宮地方法務局および県人権擁護委員連合会より「じんけん大使」に委嘱され、12月2日に委嘱状伝達式が行われました。

じんけん大使は、県や県内市町のご当地キャラクターに委嘱されており、街頭啓発活動や、標語の表彰式などで活動します。

委嘱状伝達式には、法務省の人権イメージキャラクター「人KENまもるくん」と「人KENあゆみちゃん」も応援に駆け付けました。ベリーちゃんのじんけん大使としての活躍に期待が高まります。



SDGsへの理解深める

—東中エコキャップアート—



市立東中学校では学校行事の全校企画として、「動画班」「アート班」「ホームページ班」の3つのグループに分かれて、SDGsの学習に取り組みました。

「アート班」が完成させたのは、全校生徒や地域の協力者から収集した約39万個のペットボトルキャップの一部を使った「エコキャップアート」。1.5m四方のパネル25枚に、生徒発案のイメージ画とSDGsが掲げる17つの目標アイコンを表現しました。全長25m以上にも及ぶ作品は、昨年11月から一定期間、学校西側に掲示された後、ポリオワクチン支援に利用される予定です。

持続可能なまちづくりに向けて

—まちづくりに関する連携協定締結—

12月21日に、本市は、独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）と「まちづくりに関する連携協定」を締結しました。

人口減少や超高齢社会の到来により、持続可能なまちづくりへの機運が高まるなか締結された本協定。協力事項の内容は、中心市街地におけるまちづくりに関することなどです。

締結式に出席したUR都市機構の村上東日本都市再生本部長は、「まちづくりに関わるさまざまな場面において、当機構が持つ知見を活用し協力していきたい」と話しました。



ごみ拾いはスポーツだ!

スポGOMI 大会in 栃木—鹿沼大会—

12月12日に、市環境クリーンセンター周辺で「スポGOMI大会in栃木—鹿沼大会—」が開催されました。

スポGOMIは、定められたエリア内で、制限時間内に拾ったごみの量と種類で算出されたポイントを競い合うスポーツ。

当日は、45チーム163人が参加し、集められたごみの総重量は、218.43kgに上りました。参加者たちは、チームワークを活かしながら、まちの美化活動のため一時間ほど汗を流しました。



子どもたちの学習をバックアップ

—鹿沼ケーブルテレビがルーター寄贈—

12月16日、鹿沼ケーブルテレビ(株)から市へ、無線LANのモバイルルーターが100台寄贈されました。

ルーターはパソコンやタブレット等をインターネットにつなげるための機器で、今回の寄贈は、小中学生たちの家庭学習の支援を目的とするもの。

佐藤市長から「地域の通信会社として本市の教育環境の充実に協力頂いている」と感謝のことばが述べられました。

